

“ジョイシリーズ”2バルブ混合水栓 ・シングルレバー混合栓取付説明書

完成図

●2バルブ混合水栓

一般用
TK216

寒冷地用
TK216UZ
TK216WZ

●シングルレバー混合栓

一般用
TK236

寒冷地用
TK236Z

使用条件

●2バルブ混合水栓の場合

1.使用水圧

●ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)
最高水圧……………7.5kgf/cm² }

| 湯沸器号数 | 最低必要水圧 |
|-------|-----------------------------------|
| 8号 | 湯沸器の最低作動水圧+0.6kgf/cm ² |
| 10号 | 湯沸器の最低作動水圧+0.7kgf/cm ² |
| 12号 | 湯沸器の最低作動水圧+0.8kgf/cm ² |

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

| 湯沸器号数 | 最低必要水圧 |
|-------|-----------------------------------|
| 8号 | 湯沸器の最低作動水圧+0.6kgf/cm ² |
| 9号 | 湯沸器の最低作動水圧+0.8kgf/cm ² |
| 10号 | 湯沸器の最低作動水圧+0.9kgf/cm ² |

左記の表は下記条件を想定して求めた水圧です。

- 湯側ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- 夏季水温 25℃
- 給湯配管長 5m
- 吐水温度 42℃

●貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.5kgf/cm²
最高圧力……………7.5kgf/cm² }

- 2.給湯に蒸気を使用しないでください。
- 3.湯・水を逆配管しないでください。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

●シングルレバー混合栓の場合

1. 使用水圧

●ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…(下表参照)
最高水圧……………7.5kgf/cm²

| 湯沸器号数 | 最低必要水圧 |
|-------|----------------------------------|
| 8号 | 湯沸器最低作動水圧+1.0kgf/cm ² |
| 10号 | 湯沸器最低作動水圧+1.4kgf/cm ² |
| 12号 | 湯沸器最低作動水圧+2.0kgf/cm ² |

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

| 湯沸器号数 | 最低必要水圧 |
|-------|----------------------------------|
| 8号 | 湯沸器最低作動水圧+1.4kgf/cm ² |
| 9号 | 湯沸器最低作動水圧+1.7kgf/cm ² |
| 10号 | 湯沸器最低作動水圧+2.0kgf/cm ² |

左記の表は下記条件を想定して求めた水圧です。

- レバーハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- 夏季水温 25℃
- 給湯配管長 5m
- 吐水温度 42℃
- 貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.5kgf/cm²
最高圧力……………7.5kgf/cm²

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

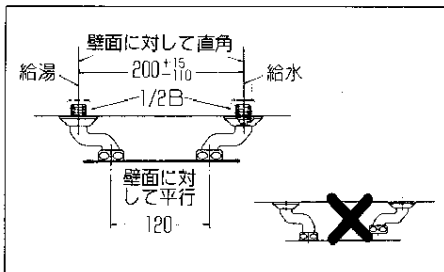
器具の取付け

1. 給水管内の清掃

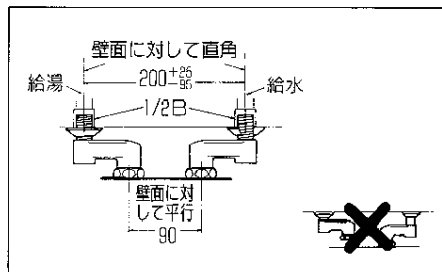
器具を取付ける前に必ず給水管内のさみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 脚の取付け

●2バルブ混合水栓の場合



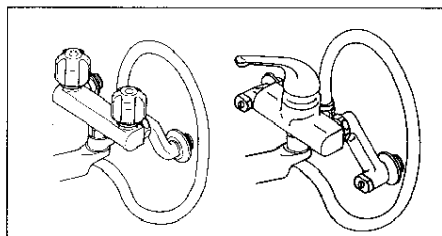
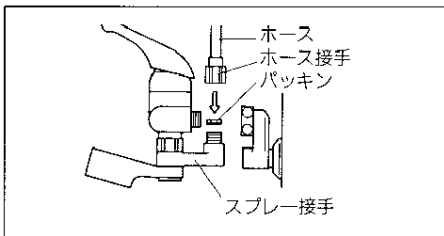
●シングルレバー混合栓の場合



3. ホースの取付け

ホース接手をスプレー接手に取付けた後に水栓本体を胴に取付けてください。

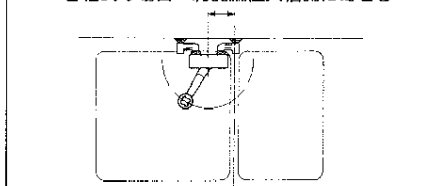
ホースの取出しは、水側(右側)から取出してください。



(注) 取付位置

- 混合栓は流しが一槽式の場合槽の中央に取付け、2槽式の場合は右図のように取付けるとより使いやすくなります。

2槽式の場合 約80mm位大槽側に寄せる



お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

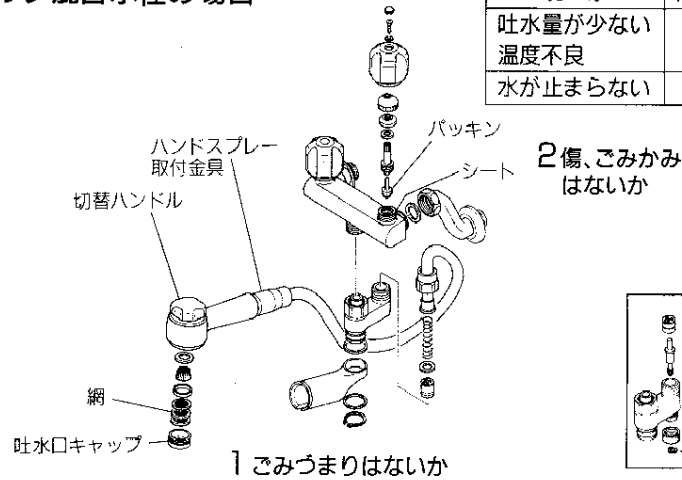
- 普段からまめに柔らかい布でみがき、ときどきシン油やカーワックスなどをしませた布でみがくこと。ただし樹脂部（ハンドル、レバーハンドル、及びハンドスプレーなど）に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含む洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

● 2バルブ混合水栓の場合

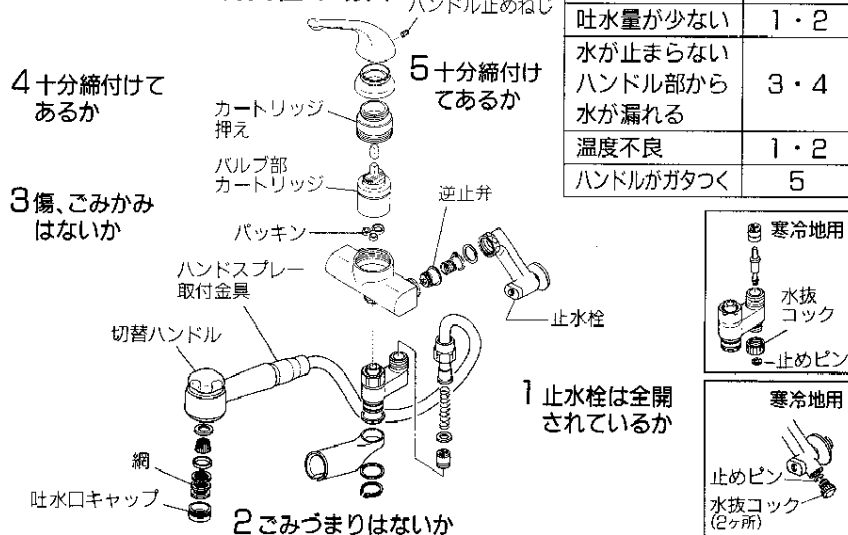
| 現象 | 点検箇所 |
|-----------------|------|
| 吐水量が少ない 温度不良 | 1 |
| 水が止まらない | 2 |



1 ごみづまりはないか

● シングルレバー混合栓の場合

| 現象 | 点検箇所 |
|-----------------------------|------|
| 吐水量が少ない | 1・2 |
| 水が止まらない ハンドル部から 水が漏れる | 3・4 |
| 温度不良 | 1・2 |
| ハンドルがガタつく | 5 |



注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。